

令和6年度 小学校

内容解説資料

教科書のご紹介

新編 新しい 国語

教科書の題字は、
手書きの温かさを
生かしてデザイン
された文字です。

新しい 国語



1年 えがしらみちこ



4年 おとないちあき



2年 ひがしちから



5・6年 宮崎ひかり



3年 結布

「言の葉」とともにいきいきと国語の学びに向かう子どもたちを、五人のイラストレーターが個性豊かに表現しています。「一上」は、表紙から入門期の学びへと、絵本のようにつながっていきます。

表紙について



東京書籍

この資料は、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。本冊子の表紙は、GIGAスクール構想における新しい学びの姿を演出するためにモデルを使って撮影したものであり、実際の授業ではありません。机上に開かれている本は、教科書見本ではありません。



教科書特設サイト、随時更新中!

特設サイトでは、「新編 新しい国語」についての動画や各種資料をご覧いただけます。教科書に関するお問い合わせは、「いつでもQ&A」や「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/kokugo/>

東京書籍 小学校 国語

検索



本社 〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1 Tel:03-5390-7352(国語編集部) Fax:03-5390-7350
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

東京書籍が最初の「新しい国語」を発行したのは、一九五十年。以来、引き継いだ土台を守り育てながら、時代時代に合わせた最も「新しい国語」を目指して、教科書の編集を続けています。

予測が困難だといわれる今の時代。

その更に先の未来を生きる子どもたちに必要な、

揺るぎない「言葉の力」の獲得のために。

つなぐ。

「言葉の力」が、
新しい君へ。

目次

教科書の特徴

- 特色 1 国語の学びが止まらない……………4
- 特色 2 ぐんぐん伸びる、国語の力……………12
- 特色 3 未来を生きる君だから……………16

各領域の特徴・編集上の留意点

- 読む(文学)……………20
- 読む(説明文)……………22
- 話す・聞く……………24
- 書く……………26
- 情報……………28
- 入門期……………30
- 言葉……………31
- 読書……………32
- 伝統的な言語文化……………33
- 全ての子どもに、学びやすさを……………34
- 教師用指導書・情報発信サイト……………36
- 学習者用デジタル教科書……………38
- 表紙について……………40



2024(令和6)年



2020(令和2)年



2015(平成27)年



1996(平成8)年



1986(昭和61)年

1980(昭和55)年



1954(昭和29)年



1950(昭和25)年

単元の導入

学ぶ意欲を引き出す

単元の導入では、
子どもたちの気持ちを
ぐっと引き込みたいし、
見通しも持たせたい。



見開きのてびき

学習の展開がひと目で分かる

子どもたちが主体的に
取り組めるように、
学習の全体像を
分かりやすく伝えたい。



新しい単元の仕組みをご紹介します。

こちらを開いてご覧ください。

ハテナ



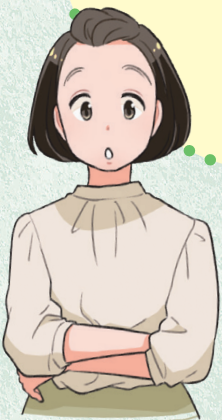
コトハ



その単元で、どんなことを学び、
どんな力を身につけたのか。
子どもたちがきちんと自覚する
ためには？



国語は、単元ごとに学んだ
ことが分断してしまいがち。
どうしたら、つながりが
生まれるかな。



身につける力をはっきり示した

「言葉の力」

学びが有機的につながる

「言葉の力」の系統性

見通す、取り組む、ふり返る

三つのステップで、「言葉の力」を身につける

「新編 新しい国語」では、「話す・聞く」「書く」「読む」の各単元で、身につける資質・能力を「**言葉の力**」として明示しています。「**見通す**」「**取り組む**」「**ふり返る**」という三つのステップを通して、「言葉の力」の獲得を目指します。

見通す

子どもの心をつかむ、単元導入

「見通す」では、その単元でどんな「言葉の力」を身につけるのか、どのように学びを進めるのかを、見開き紙面で示しました。また、学習への意欲を高めるために、挿絵や写真をダイナミックに配置するなど、レイアウトを工夫しました。

想ぞうしたことをつたえ合おう

モチモチの木

言葉の力
人物のせいにかくを想ぞうする

今夜は、モチモチの木に灯がともるばんなんだそうだ。木が明るくぼうつとかがやいて、まるでそれは、ゆめみてえにきれいなんだそうだが……。

3下P38 「モチモチの木」

見通す

物語の会話文以外の文を地の文といい、地の文を語る人を語り手といいます。地の文と会話文を手がかりに、人物のせいにかくを想ぞうしましょう。

「モチモチの木」っていったいどんな木なんだろ。登場人物とどんな関係があるのかな。

どんなせいにかくの登場人物が出てくるのかな。

学習の流れ

- 見通す**
物語の内ようをとらえよう。
- 取り組む**
人物のせいにかくを想ぞうしよう。
登場人物について想ぞうしたことをつたえ合おう。
- ふり返る**

39

38

読み
思い出そう
むかし話のおもしろさを
見つける
（二年「かさこじぞう」）

取り組む

学習が見わたせる、見開きのてびき

学習の全体像をひと目で見わたせる構造にしました。上段では学習活動の展開を、下段ではノートや対話など具体的な学びの姿を示しています。

思い出そう

単元の学習に関連の深い既習の「言葉の力」を示しています。QRコンテンツで、詳細が確かめられます。



言葉の力（見通す）

単元で身につける資質・能力を意識して学びに向かうことができます。

学習の流れ

学習に入る前に、その単元の学習過程を見通すことができます。また、単元で重点が置かれる学習活動には、ナビゲーターキャラの「コトハ」を配置しています。

大きな図版

ダイナミックな挿絵や写真によって、教材への興味、学習意欲を高めめます。



6年P46 「イースター島にはなぜ森林がないのか」

ふり返る

説明と図解で定着を図る、「言葉の力」

学習を振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめることができます。

想ぞうしたことをつたえ合おう

取り組む



物語の登場人物について、地の文と会話文、それぞれを手がかりに想ぞうしたことをつたえ合いました。

1

物語の内ようをとらえよう。

▼どんな登場人物が出てきますか。

・語り手は、豆太をどのような男の子だと言っていますか。

・じさまは、豆太のことをどのように思っていますか。

▼どんな出来事があったかをたしかめましょう。

人物のせいさを想ぞうしよう。

▼豆太の行動や様子が書かれている部分や、会話文を書き出し、豆太の気持ちを場面ごとに整理しましょう。

・昼と夜とで、モチモチの木に対する豆太の様子は、どのようにちがいますか。

▼豆太の行動や様子が書かれている部分や、会話文を書き出し、豆太の気持ちを場面ごとに整理しましょう。

・昼と夜とで、モチモチの木に対する豆太の様子は、どのようにちがいますか。

2

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

・「霜月二十日のばん」と「豆太は見た」の豆太をくらべてみましょう。

▼どうして豆太は、モチモチの木に灯がともるのを見ることができたのでしょうか。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。

▼豆太はどのようなせいさを想ぞうしよう。



対
タイ

○行動や様子	○会話文	○夜中には、じさまについて、もちモチの木のこと、一人じゃしょうべんもできない。」「じさまと安心して」
○話し言葉	○話し言葉	○話し言葉

考えをつたえられい
豆太がじさまを起こすといことはかわらないけれど、豆太のせいさは始めと終わりがわかったと思うよ。なぜかという……。



学習で使う言葉
会話文
話した言葉を表す文や文章。かぎ（ ）をつけてしめす。

地の文
物語の会話文以外の文。

語り手
物語の中で、地の文を語る人。
150ページ

ふり返る



登場人物のせいさを想ぞうし、友だちとつたえ合いましたか。



人物のせいさを想ぞうする

行動や会話書かかれているところを手がかりにして、登場人物のせいさを想ぞうする。

語り手がその人物のことをどう言っているかに着目する。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

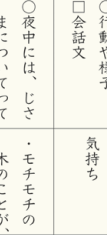
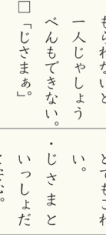
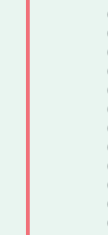
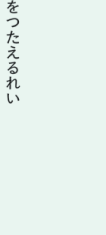
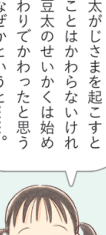
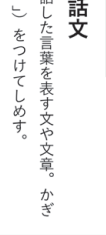
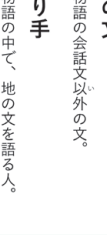
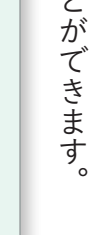
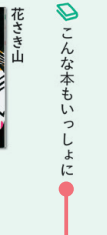
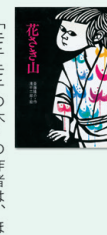
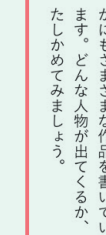
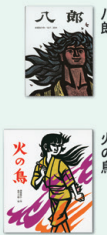
自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。

自分だったらどう行動するか、どんな気持ちになるかを考え、自分とくらべることで人物のせいさを想ぞうする。



めあて

どのような言語活動を通して「言葉の力」を身につけるのか、単元の目標を示しています。

学習の具体例

ノートや発言、対話の例などを示しました。子どもたちが考えたり発言したりする際の参考として活用できます。

ポイント

「言葉の力」と特に関わりが深い学習課題には、思考を深めるためのヒントを示しています。

学習で使う言葉

単元の学習で使う用語とその解説を示しました。巻末の付録では、用語をまとめて確かめることができます。

ふり返る

学習の振り返りの視点と「取り組む」の「めあて」と照応するように示しています。

こんな本もいっしょに

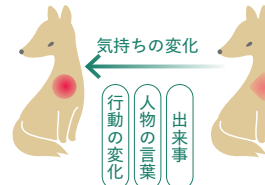
教材文に関連する図書を紹介しています。

言葉の力（ふり返る）

単元で身につけた力を、図解も加えて簡潔に分かりやすく示しています。

生かそう

身につけた「言葉の力」を、他教科や日常生活に生かす視点を示しています。



4下P36 「ごんぎつね」

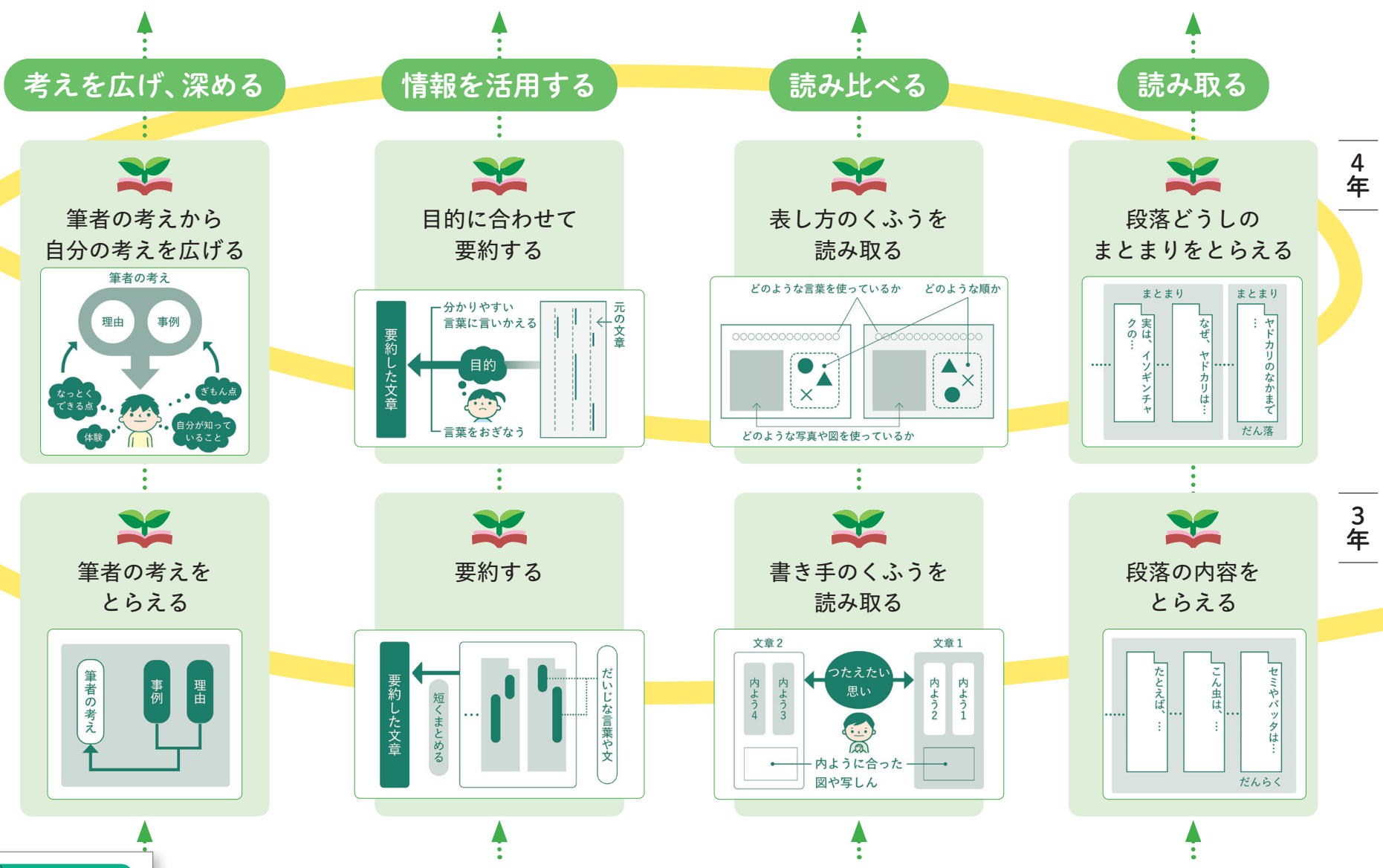
高学年での学習へ

読む（説明文）の例

低学年での学習から

螺旋的・反復的に「言葉の力」を身につける

「言葉の力」が、つながる、積み上がる



読む（説明文）

考えを広げ、深める | じょうほうを 活用する | 読みくらべる | 読み取る

カミツキガメは患者か ↓ 三下

せつちやくぎいの今と昔 ↓ 三下

要約する | 要約 | 事例

「給食だより」を読みくらべよう ↓ 90ページ

書き手のくふうを読み取る

自然のかくし絵 ↓ 42ページ

だんらくの内ようをとらえる | だんらく | 筆者

3上P165

話す・聞く

言葉の力のつながり

前学年の「言葉の力」

「わたし」の説明文を書こう ↓ 155ページ

「わたしの説明文を書こう」 ↓ 155ページ

「わたしの説明文を書こう」 ↓ 155ページ

「わたしの説明文を書こう」 ↓ 155ページ

「言葉の力」のつながり

巻末では、領域・系統ごとに「言葉の力」を示しています。前学年の「言葉の力」も併せて確かめることで、学びのつながりを実感できます。

3上P6

「言葉の力」を集めよう

巻頭では、一年間で学習する「言葉の力」をロードマップにして示しています。

3下P94「クラスの思い出作りのために」

「読む」と「書く」を連携して指導したいという先生がたの声に応え、単元配列を刷新しました。

「言葉の力」
考えの理由を明らかにして書く

① 自分の考えをまとめよう。
クラスの楽しい思い出作りのために何をしようか、何をしようか考えて、書いて出してみよう。書き出したことをもとに、自分の考えを一つえらびましょう。

② 考えの理由を明らかにして、文章を書きましょう。

③ 文章の組み立てを考えよう。
④ 文章を書こう。
⑤ 文章を読み合おう。

クラスの思い出作りのために

お楽しみ会、ふんいき作り、教室のかざりづけ、大人教でできる、サッカークラスで人気がある、ドッジボール、体育館を使えば、雨の日でもできる

書く

3下P76「カミツキガメは悪者か」

「読む」と「書く」を連携して指導したいという先生がたの声に応え、単元配列を刷新しました。

「言葉の力」
筆者の考えをとらえる

① 筆者の考えをとらえよう。
② 筆者の考えをとらえよう。
③ 筆者の考えをとらえよう。
④ 筆者の考えをとらえよう。

カミツキガメは悪者か

生き物についての考えを深めよう

読む (説明文)

情報を活用して書く

情報を扱う力を育む

情報を見極めながら読む

学習者自身で、情報を扱えるように

さまざまな情報があふれる現代において、いかに情報を学習に活用するかが大切です。説明文であれば、例えば「筆者の考えは何か」「考えを支える理由は何か」などと、情報を能動的に取得しながら読むことが求められます。続く「情報のとびら」では、「考え」「理由」などの情報をパーツごとに認識・整理することの大切さを学び、それらの学習を踏まえて、「書く」では、「自分の考えは何か」「その理由として何が重要なのか」など、情報を選択・操作しながら意見文を書きます。

このように、学習者自身で情報を扱うという見方・考え方を働かせることが大切です。

宇都宮大学教授 森田香緒里

情報のとびら

考え

行く場所は、図書館よりも水族館のほうがよいと思う。

理由① なぜなら、生まれたばかりのペンギンの赤ちゃんが見たいから。

理由② その理由は、水族館のわり引きクーポンを持っているから。

考えは、理由とつしよに考えよう

理由をつたえるときは、「なぜなら……だからです」などの言葉も使うとよいでしょう。

「行く場所は、水族館よりも図書館のほうがよい」という考えの理由を想そうし、考えと理由のつながりが分かるように文章を書きましょう。

「考えた理由」

「わたしは……」と思う。という考えを分かってもらうためには、「どうしてそのように考えるのか」という理由をつたえることが大切です。

生まれたばかりのペンギンが見たいんだ。あと、水族館のわり引きクーポンも持っているよ。

分かった、それなら、今日は水族館に行こう。

「考えた理由」

「わたしは……」と思う。という考えを分かってもらうためには、「どうしてそのように考えるのか」という理由をつたえることが大切です。

「考えた理由」

「わたしは……」と思う。という考えを分かってもらうためには、「どうしてそのように考えるのか」という理由をつたえることが大切です。

3下P92「考えと理由」

情報を見極め、未来を切りひらく

↓ 「未来へつなく学力」

未来を生きる子どもたちに必要なものは、情報を適切に読み解き、課題を解決するために活用する力です。「新編 新しい国語」では、一つ一つの単元だけではなく、単元間の有機的なつながりをもって**情報活用能力**を高めます。

情報を精査し、発信する力を育成する



4上P102「述語の形、だいじょうぶ?」

①の文の主語と述語をつなぐと、「ゆめは……」
 になります。と書いてあります。「ゆめ」の
 ような言葉が主語に来る場合、それに合った「の」
 「で」「を」などの言葉が述語にないで、
 うまくなりません。また、③の文のように、
 主語の中に「の」「で」「を」などがある
 ときも、同じような言葉が述語に必要です。
 ①の文は、「ゆめは、じゅう医にならないうま
 くなりますよ」と書いてあります。「ないうま
 くなりますよ」と、から、を入れることが必要で
 すよ。

②の文は「ゆめは、主語と述語は
 「わたしは……大好きです」とつながって
 います。しかし、この文では、「ゆめは」という理由を表
 す言葉は注意しなければなりません。理由を説明
 するときは、「なぜなら、わたしは動物が大好き
 だからです」と、から、を入れることが必要です。

ポイント
 述語の形に気をつけよう
 文章を書くときには、文に合った述語の形
 になるよう、気をつけましょう。
 ○主語に来る言葉に合わせて、述語に「の」
 「で」「を」などの言葉を入れる。
 ○「なぜなら」など、理由を表す言葉が来る
 場合は、「から」を入れる。

練習問題
 QRコンテンツには
 類題を豊富に掲載。学
 びの定着を図ります。

練習問題
 QRコンテンツには
 類題を豊富に掲載。学
 びの定着を図ります。

ポイント
 単元の学習のポイン
 トを、簡潔にまとめて
 います。

教材の導入
 つまづきの具体例を、
 キャラクターどうしの
 会話などで示していま
 す。

**調査・研究結果を
 学習課題として**

全国学力・学習状況調査では、「文
 の中における主語と述語との関係」
 に関わる問題の正答率が低く、特に、
 述語に対応する主語を見つけない問題、
 主語と述語との照応が不適切なもの
 を見つける問題に課題があります。
 子どもの作文分析研究では、修飾・
 被修飾の関係、文と文とのつながり
 についての課題も指摘されています。
 このようになささまざまな調査・研究
 の結果を踏まえ、子どもたちの文法
 知識を表現・理解の場で生かせるよ
 うに、学習上の課題を設定したのが
 「言葉相談室」です。

山室和也 国士館大学教授

1上P58「ねことねっこ」

ちがう ところに きを つけましょう。

ね ねっこ

よこに かく とき

ねっ こ

58



はを つかおう

りんごは、あかい。

りんごは、あかい。

りんごは、あかい。

44

1上P44「『は』をつかおう」

記号（●など）による視覚化と手を叩いたり握った
 りする動作化により、つまづきやすい特殊音節の仕組
 みや表記を理解しやすくしています。

助詞の性質をイラストで
 視覚化して表現し、文構造
 の理解に役立てています。

特殊音節の教材

助詞の教材

「新編 新しい国語」では、科学的に実証された「多層指導モデルM³」の指導法を踏まえ、
 入門期の子どもたちが読み書きでつまづきやすいポイントを手厚くフォローします。

特別支援教育の知見を生かし、一人一人の学びを保障する

「未来へつなぐ学力」

つまづかせない、先回りの支援を

「誰一人取り残さな
 い学びのために」

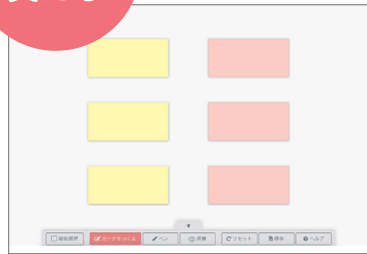


5年

QRコンテンツサイトのトップページ



学びを支える



デジタルノート

●調べたことや自分の考えを書き出したり整理したりするときに活用できます。



キーボード入力練習

●全学年で利用が可能(低学年は、サイトからのアクセスのみ)。学年段階に合った単語や文で練習できるようになっています。

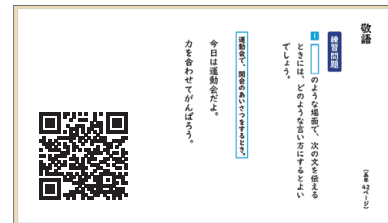


ウェブ資料



●「読むこと」等の学習に関連する資料が、ウェブ上に用意されています。

練習問題 2000問以上!



●「言葉」教材や漢字の練習問題を通して、知識の定着が図れます。

106の動画!

動画・音声

学びを広げる



●「話すこと・聞くこと」のモデル動画や「読むこと」の資料動画など、単元導入の課題発見・意欲喚起などに活用できます。
●全ての子どもの学びやすさを考慮して、字幕を付けています。



*ここで紹介したものの以外にも、さまざまな種類のQRコンテンツがあります。
*各学年のQRコンテンツサイトのトップページをブックマークしておく、いつでも任意のコンテンツにアクセスすることができます。

学習で使う言葉・言葉の広場



●6年間の「学習で使う言葉」「言葉の広場」を確かめることができます。

筆順・用例データベース

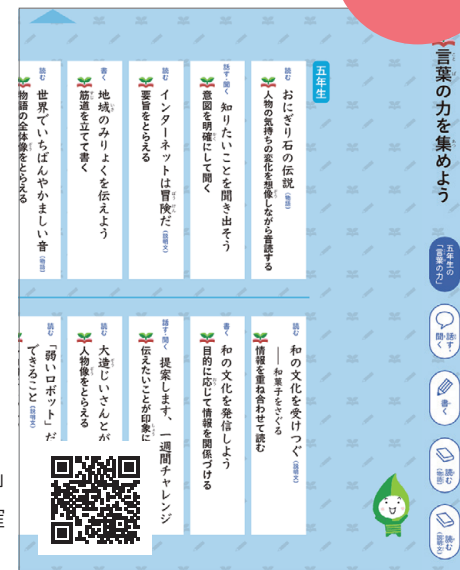


●6年間で学ぶ全ての漢字の部首や画数、読み方、筆順、用例を調べられます。

●6年間で身につける「言葉の力」の内容を、学年・領域ごとに確認できます。

「言葉の力」データベース

情報を探す



600を超えるQRコンテンツで、さまざまな学びをサポート

教科書上の二次元コードをデジタル端末で読み取ると、学習内容に関連するQRコンテンツにアクセスできます。多種多様なコンテンツは、授業・家庭学習のあらゆる場面で、子どもたちの学びをサポートします。

デジタルの力で、学びを広げる

教科書×ICT





6年P170
「発信しよう、私たちのSDGs」

六年では、SDGsについて協働的に調べ、編集し、発信する活動を設定しています。

未来を考え、発信する

防災・安全



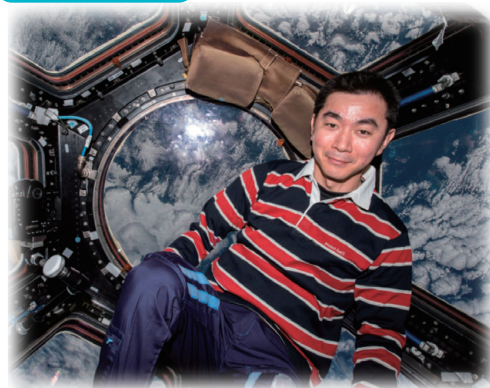
6年P62
「いざという時のために」など

戦争・平和



6年P126
「模型のまち」など

キャリア教育



6年P218
「宇宙への思い」など

環境・資源



6年P152
『永遠のごみ』プラスチック」など

情報化社会



5年P44
「インターネットは冒険だ」など

郷土・伝統



5年P148
「和の文化を受けつぐ — 和菓子をさぐる」など

食育



5年P238
「資料を見て考えたことを話そう」など

未来を生きていく子どもたちへ

多様なテーマの教材が織り成す、新時代の国語の教科書
 「新編新しい国語」では、SDGsをはじめ、さまざまな現代的諸課題に関連の深い教材を数多く取り上げています。

未来を生きる。言葉とともに生きる。

特設コラム「未来を生きる君へ」では、言葉を学び、言葉を駆使して未来を切りひらくことの意義が、各界の著名人のメッセージとしてつづられています。

3上P106「ジャイアンとぼく」

ジャイアンとぼく



村山 昂

動物との共生 (2年)
 イルカと話したい
 村山 昂

人とのつながり (3年)
 ジャイアンとぼく
 木村 昂

多様性・福祉 (4年)
 「できない」の先に
 吉藤オリイ

プログラミング (5年)
 全ては、一つの言葉から
 鳥井 雪

国際理解 (6年)
 世界は必ず変えられる
 中満 泉

読む（文学）

積み重ねる物語の学習で、豊かに想像する力を

文学 五つの系統

4年

3年

音読する

主に「構造と内容の把握」に焦点を当て、人物の様子や気持ち、情景等を音読で表す活動を通して、物語を読み解くための基礎を育てます。

こわれた千の楽器



人物の気持ちを想像して音読する

すいせんのラッパ

様子を想像して音読する

場面に着目して読む

主に「構造と内容の把握」に焦点を当て、場面の様子や移り変わりに着目して読み、物語の構造や全体像を捉えながら読む力をつけます。

走れ



物語の山場に着目する

ワニのおじいさんのたから物

あらすじをまとめる

人物に着目して読む

主に「精査・解釈」に焦点を当て、登場人物の行動や気持ちの変化、登場人物の相互関係に着目して読み、人物像を具体的に想像する力を養います。

ごんぎつね



人物の気持ちの変化を想像する

サーカスのライオン

中心人物の行動や気持ちをとらえる

表現に着目して読む

主に「精査・解釈」に焦点を当て、メッセージや題材を意識させるような叙述など、表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考えます。

一つの花



物語の中の大事な言葉に着目する

モチモチの木

人物の性格を想像する

感想や考えを持つ

主に「考えの形成」「共有」に焦点を当て、読み取ったことともに感想や考えを持ち、他者と共有する力を養います。

世界一美しいぼくの村



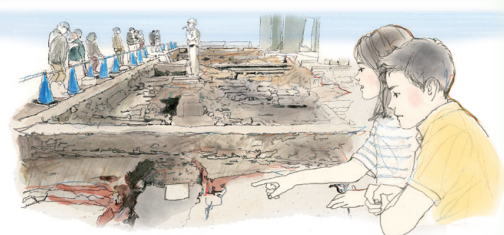
物語の終わり方について考える

ゆうすげ村の小さな旅館 — ウサギのダイコン

物語のしかけを見つける

子どもたちの心に響く教材群

読み継がれる名作や現代的視点で書かれた作品などを、バランスよく取り上げました。現代を生きる等身大の小学生を描いた物語を掲載することで、子どもたちは共感を持って物語を読み味わうことができます。



6年P126「模型のまち」

転校生の亮は原爆投下前の街並みに思いを馳せ、被爆当時の地層の発掘調査見学に出かけます。

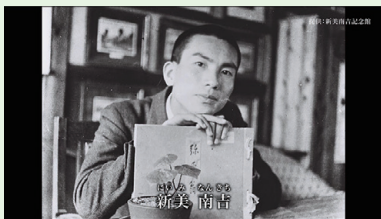


読みを深めるQRコンテンツ

作者からのメッセージ動画や資料・解説動画など、教材に応じて学習に役立つQRコンテンツを用意しています。

【使い方の例】

- ・教材文を読む前の単元導入として
 (例)「安東みきえさんのお話を聞こう」(作者からのメッセージ動画)
- ・読み広げにつなげるきっかけとして
 (例)「新美南吉」(作者についての紹介動画)
- ・物語の背景を理解するための資料として
 (例)「原爆ドーム」(解説動画)



「新美南吉」(4下P36「ごんぎつね」より)



「原爆ドーム」(6年P126「模型のまち」より)

提供：NHK



読む(説明文)

系統をつなぎ、求められる読解力に応える

説明文 四つの系統

6年

5年

読み取る

説明文読解の基礎に当たる系統。「構造と内容の把握」に焦点を当て、説明文を読み解く力の土台をつくります。文章の要点や文章構成の把握など、後に続く系統に生かせる力をしっかりと身につけます。

イースター島にはなぜ森林がないのか



論の進め方をとらえる

インターネットは冒険だ

要旨をとらえる

読み比べる

実生活で目にするテキストを題材に、読み比べて表現の工夫を読み取る力を育てます。身の回りにある「給食だより」からインターネット上の投稿まで、メディアリテラシーにつながる力を育みます。

インターネットの投稿を読み比べよう



説得のくふうを読み取る

新聞記事を読み比べよう

記事の書き手の意図を読む

情報を活用する

主に「精査・解釈」に焦点を当て、テキストの情報をまとめたり関係づけたりすることで、情報を活用する力を高めます。続く「書く」の単元では、身につけた力を生かして、関連する題材の学習に取り組みます。

「永遠のごみ」プラスチック



複数の情報を関係づけて読む

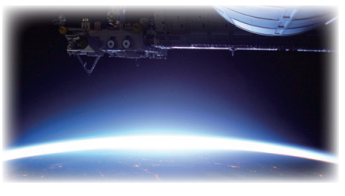
和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる

情報を重ね合わせて読む

考えを広げ、深める

主に「考えの形成」「共有」に焦点を当て、読み取ったことをもとに、自分の考えを広げ深める力を養います。一年間の説明文学習の仕上げとして、「読んで終わる」ではなく、「自分の思考と読解とを結び付けます。」

宇宙への思い



文章を読み、考えを広げたり深めたりする

「弱いロボット」だからできること

多角的にとらえる

刺激される好奇心

「言葉の力」を身につけるためには、子どもたちの「何だろう?」「もつと知りたい!」という気持ちが欠かせません。現代的テーマを取り上げた教材が、子どもたちの興味・関心を引き出します。



3下P76 「カミツキガメは悪者か」

複数の情報をつなぐ

生きて働く読解力を身につけるためには、単一のテキストだけでなく、複数の情報を読む力が必要です。特に高学年では、資料との関係づけを意識した教材を多く掲載しています。



5年P148 「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる」

豊富なテキスト種類

実生活で目にするテキストや非連続型テキストを数多く取り入れた教材が、確かな読解力を育みます。



5年P92 「新聞記事を読み比べよう」

話す・聞く

デジタルの力で、学びが更に広がる、深まる

話す・聞く 五つの系統

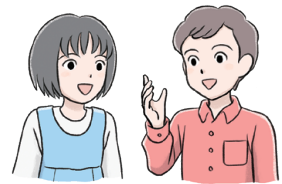
5年

4年

対話をする

一年間の授業開きで、友達と話すことを通して、対話的な学びの基礎・基本を身につけます。

集めよう、よいところ



もしも、こんなことができるなら

話を聞く

「聞く」に焦点を当て、必要なことを聞き取って、考えたり質問したりすることを通して、主体的に聞く力を身につけます。

知りたいことを聞き出そう



インタビューをして話を聞き出す

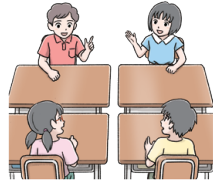
話を聞いて質問しよう

くわしく知るために質問する

話し合う

「話し合う」に焦点を当て、目的を意識して計画的に話し合う力を身につけます。

問題を解決するために話し合おう



意図を明確にしながらかし合う

クラスで話し合って決めよう

役割を考えながら話し合う

くふうして話す①

「話す」に焦点を当て、経験したことや感じたことが聞く人に伝わるように話す力を身につけます。

提案します、一週間チャレンジ



印象に残るように話す

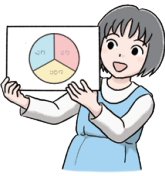
聞いてほしいな、こんな出来事

聞く人に伝わるようにくふうして話す

くふうして話す②

「話す」に焦点を当て、調べたことやそこから考えたことを相手に伝える力を身につけます。

資料を見て考えたことを話そう



資料と関係づけて話す

調べたことを報告しよう

分かりやすく伝える

教科書に準拠したモデル動画

「話し合う」「くふうして話す」系統では、教科書の話例に基づいたモデル動画をQRコンテンツとして豊富に用意しています。話し合いや発表などの活動の参考にすることができます。



5年P118「問題を解決するために話し合おう」

話し合いのエラーモデル

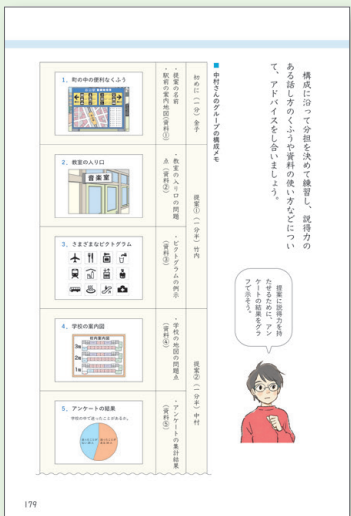
動画の中には、話し合いのエラーモデルも用意しています。単元の導入などで視聴することで、学習のねらいを明確にすることができます。



3上P120「グループの合い言葉を決めよう」

話したくなるテーマ

「話す・聞く」単元では、日常の経験に基づく題材から、これから生きる子どもたちに考えてほしい題材まで、幅広いテーマを取りそろえています。



6年P176「プレゼンテーションをしよう」

書く

未来を切りひらくための、表現力・発信力を鍛える

書く――六つの系統

4年

3年

説明の文章を書く

主に「構成の検討」に焦点を当て、自分の身の回りのことについて、「始め・中・終わり」など、構成を考えながら文章を書きます。

わたしのクラスの「生き物図かん」



段落どうしのまとまりを考えて書く

「わたし」の説明文を書く

中心を明らかにして書く

物語や詩歌を作る

絵などから想像を広げ、構成を考えて物語を書いたり、表現を工夫して詩や短歌、俳句を創作したりします。

山場のある物語を書こう



組み立てを工夫して書く

心が動いたことを詩で表そう

表現を工夫して詩を作る

手紙を書く

主に「推敲」に焦点を当て、相手や目的、用件に合わせた手紙を書きます。

お願いやお礼の手紙を書こう



相手や目的を考えて手紙を書く

案内の手紙を書く

大事なことを手紙で伝える

情報を発信する

主に「題材の設定」等に焦点を当て、直前の説明文のテーマに関連して情報を収集・整理し、レポートやパンフレットで発信します。

「和と洋新聞」を作ろう



目的に合わせて材料を整理する

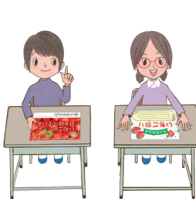
道具のみみつをつたえよう

調べたことを整理する

意見をまとめる

主に「考えの形成・記述」に焦点を当て、自分の考えを持ち、理由を吟味しながら条件に沿って意見文を書きます。

自分なら、どちらを選ぶか



理由をざんみして考えを書く

クラスの思い出作りのために

考えの理由を明らかにして書く

一年間を振り返る

主に「共有」に焦点を当て、文集作りなどを通して、これまでの「書くこと」の学習で身につけた力を振り返ります。

十年後のわたしへ



文章のよいところを確認する

わたしのベストブック

文章のよいところを伝え合う

複数の情報をもとに書く

書くための材料として、複数の広告や投稿などの情報を示しています。情報を比較・分析するなどして、考えをまとめ、文章を書きます。

6年P236「どう立ち向かう？ もしもの世界」



高学年では、世界に視野を広げて調べたり、架空の状況下で考えをまとめたりするなど、予測困難な社会においても、情報と向き合い、未来を生きぬく力を育みます。

「読むこと」とのつながり

「物語を作る」「情報を発信する」の系統では、「読むこと」で身につけた「言葉の力」を、続く「書くこと」の学習に生かすことができます。また、「読むこと」とのテーマのつながりも意識しました。

思考を深めるQRコンテンツ

単元冒頭の動画では、児童のエラーモデルを示すなど、単元で身につけるべき「言葉の力」を意識づけるねらいがあります。そのほか、「デジタルノート」を使って考えを整理する例を示すなど、授業支援システム活用の際の参考にできます。

クラスの思い出作りのために、クラス全員でドッジボールをするのがよいと思います。なぜなら、ぼくはドッジボールが大好きだからです。



3下P94「クラスの思い出作りのために」の動画

情報

関係・整理・調査・論理といふ四つの切り口で

「情報のとびら」を新設

学習指導要領に定められた「情報の扱い方に関する事項」を取り立てて扱う教材を新設しました。導入漫画をはじめ、ポイントや練習問題が載っています。

全体と中心

「じょうほうのとびら」

何をいちばんつたえたいの？

ねえねえ、山ついでいよね。

そうだね、山のしやしんを見るのがすきだよ。

山の上で食べるお弁当は最高においしいよ。

空気はすんんでいるよ。のぼるのつかるけど、ちよう上で食べるお弁当は最高においしいよ。そいえば、あさっての日曜日は晴れるみたい。

何を言いたいの？

山の上でいよね。

日曜日にうついでいよね。

あ、そだったの？

はじめに「日曜日に山のぼりに行こうよ。」って言ってくれれば分かったのに。

そうだね、山のすきなところや天気のことを、先につたえちゃったよ。

全体と中心

話や文しようの全体のうち、何をいちばんつたえたいのかという、中心を明らかにすることが大切です。

つぎのア・イのようなとき、どんなことをつたえるとよいてしょうか。後の①〜⑦から合うと思うものを全てえらびましよう。

ア 地いきのスポーツ大会のおやつを、すいかにしようと言いたいとき。

イ お店の人になったつもりで、すいかを売りたいとき。

右のア・イのどちらかをえらび、中心が分かるように文しようを書きましよう。

①夏のくだものだ。

②水分が多い。

③あまくておいしい。

④赤い色をしている。

⑤すいかわりができる。

⑥大人数で食べられる。

⑦たねが多い。

デジタルノート

3上P54「全体と中心」

漫画による導入で、スキル獲得のきっかけを

情報の扱い方に関するスキルは、使えるようになることが重要です。そのためには、どうしてそのスキルが必要かを子どもたちが自分事として捉えることが大切ですが、それは決して簡単なことではありません。「情報のとびら」の導入漫画は、「コトハ、ハテナというキャラクターによる、失敗談（エラーモデル）を交えたストーリーから成ります。彼らの抱える課題を子どもたちが擬似的に発見・解決することで、自らで使えるスキルの獲得につながるのです。

島根県立大学准教授 中井悠加

「情報のとびら」の系統

「情報のとびら」で扱う学習事項を、四つの系統に整理しました。

関係

情報と情報の関係をとらえる力

- ・ じゅんじよ (2年)
- ・ 全体と中心 (3年)
- ・ 事実と考え (5年)
- ・ 原因と結果 (6年)

整理

情報を理解し、使いやすくするために、情報を整理する力

- ・ 同じところ、ちがうところ (2年)
- ・ 分ける (3年)
- ・ 観点を立ててくらべる (4年)
- ・ 文章と図表 (5年)

調査

情報を探したり、適切に使ったりする力

- ・ 本でしらべる (2年)
- ・ 引用する (4年)
- ・ 情報の信頼性と著作権 (6年)

論理

考えと理由のつながりを精査したり、多面的に考えたりする力

- ・ 考えと理由 (3年)
- ・ 理由をぎんみする (4年)
- ・ 考えのちがい (5年)

*「関係」(論理)では、学習指導要領の「知識及び技能」(2)ア「情報と情報との関係」の内容を、「整理」(調査)では、「イ」情報「の整理」の内容を、それぞれ主に扱っています。

「読むこと」と「書くこと」の橋渡し

「情報のとびら」は、「読むこと(説明文)」での学びを、続く「書くこと」の学習に効果的に結び付け、「言葉の力」の習得と活用を促します。

文章構成のつながり

題材・テーマのつながり

論証・説得のつながり

3年(例)

説明文 自然のかくし絵 段落の内容をとらえる

情報 全体と中心〈関係〉
*情報の全体から中心をとらえることを学ぶ

書く 「わたし」の説明文を書こう
*中心を明らかにして書く

……

説明文 せっちゃんざいの今と昔 要約する

情報 分ける〈整理〉
*情報を分類して整理する方法を学ぶ

書く 道具のひみつをつたえよう
*調べたことを整理する

……

説明文 カミツキガメは悪者か 筆者の考えをとらえる

情報 考えと理由〈論理〉
*考えは、理由とともに伝えることを学ぶ

書く クラスの思い出作りのために
*考えの理由を明らかにして書く

入門期

入学前の経験に寄り添い、学びを円滑につなぐ

入門期冒頭教材で、小学校の学びの扉を開く

冒頭教材では、絵から見たことを伝え合ったり、グループに分かれて手遊びを楽しんだりすることを通して、他者と対話することの楽しさを学びます。



表紙からつながる冒頭教材

児童が幼児期に親しんできた絵本のような世界観で、国語の学習が始まります。

リズムに合わせて手をたたくなど、心と体で言葉や音を楽しみます。



1上冒頭教材「きこえるよ」

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」と、四月教材群のカリキュラムを対応させています。幼児期に育まれた言葉に関する資質・能力を見取りながら、小学校での言葉の学習の土台作りにつなぐことができます。

幼保小の接続を、スムーズに

文字も言葉も、習得しやすく

ビジュアルで分かりやすいイラストや、動作から学べる動画のQRコンテンツを豊富に用意しました。



1上P14「こえをとどけよう」

言葉

思考力を下支えする、確かな言葉の学びを

基礎・基本を学ぶ

小単元では学習事項を焦点化して、基本的な知識・技能を習得します。

つまづきを克服する

言葉相談室は、国語の力の土台となる語彙と文法に特化しました。

言葉のおもしろさを知る

言葉単元では、言葉の持つさまざまな側面に目を向けます。

3上P62「漢字の表す意味」

練習問題は、6年間で2000問以上!

漢字の表す意味

親、長、空、表、月

練習問題

3上P62「漢字の表す意味」

3上P78「人物やものの様子を表す言葉」 / P154「言葉の広場」

もの様子を表す言葉

- ゆらゆら
- ぱちぱち
- ちくちく
- ずきずき
- すいすい
- びかびか
- ばらばら
- めずらしい
- がたがた
- たつぷり
- わずか
- りっぱ
- みこぼ
- ひびい
- 人気がある

3上P78「人物やものの様子を表す言葉」 / P154「言葉の広場」

1下P60「いろいろなつたえ方」 / P165「点字の表」

いろいろなつたえ方

点字の表

点字のあいうえお

あ、い、か、さ、た、な、は、ま、ら、わ、ん

1下P60「いろいろなつたえ方」 / P165「点字の表」

読書

好奇心・探究心を育む本との出会い

図書館を使いこなす

子どもたちの「知りたい」「調べたい」に応じた、さまざまな資料や情報の探し方を示しています。



3上P30「図書館へ行こう」 / 2上P26「としょかんへ行こう」

6年間で、580冊以上！



6年P102「六年生の本だな」

多様な本に親しむ

子どもたちの読書体験を豊かにするために、多様なジャンルの本や著名人の読書体験エッセーを紹介しています。



恐竜博士登場！

2上P104「二年生の本だな」

読書活動を楽しむ

読書マップ作りなどの活動に加え、本の一部を掲載するなど、本を手に取りたくなる工夫を施しています。



関連図書を紹介

207

- エッセーの筆者
- 1年 角野栄子
 - 2年 小林快次
 - 3年 茂市久美子
 - 4年 米村でんじろう
 - 5年 あさのあつこ
 - 6年 上橋菜穂子

伝統的な言語文化

古来伝わる言葉に親しみ、受け継ぐ

現代に生きる私たちへのメッセージ

「伝えたい言葉の葉」では、伝統的な言語文化に親しんだり、長く使われてきた言葉について理解を深めたりする教材があります。六年では、古典芸能について解説した「古典芸能への招待」を新設。狂言「神鳴」の映像（一部）を鑑賞することもできます。

季節を楽しみ、味わう

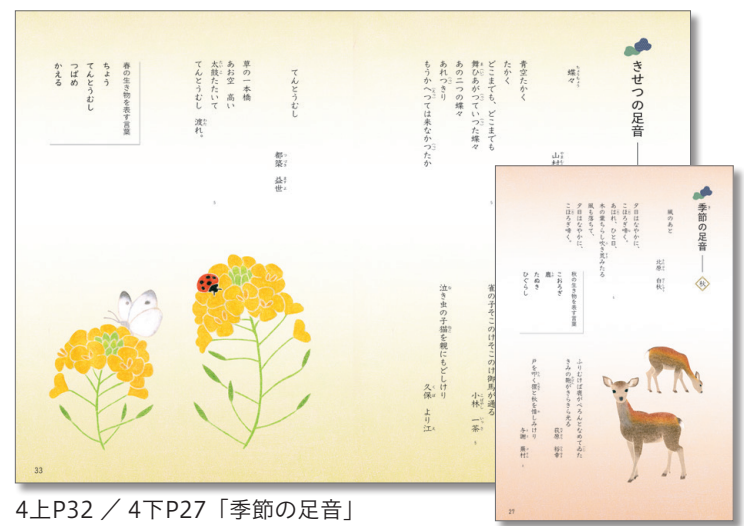
古来受け継がれる珠玉の言葉を集めた「季節の足音」。四季の訪れとともに、言葉の美しさを味わうことができます。



5年P66「いにしえの言葉に親しもう」



6年P210「古典芸能への招待状」



4上P32 / 4下P27「季節の足音」

「新編 新しい国語」では、特別支援教育や色覚多様性の専門家の監修・助言のもと、全巻全ページにわたって検討し、子どもたちにとっての学びやすさを追求しました。

特別支援教育の観点から

読みやすく、書きやすい書体

① 入門期の促音・拗音

入門期では、従来よりも促音・拗音の小書きの文字を小さくして判別しやすくしました。

② 新出漢字

囲みをなくして、字形をより捉えやすくしました。

③ 読み・送り仮名など

漢字の読みや送り仮名をはじめ、可読性への配慮が特に必要な箇所では、UD書体を使用するなど、格段の配慮をしています。

④ アルファベット

ローマ字などに用いるアルファベットには、英語の教科書用に開発されたUD書体を使用しています。

新 gakkô
旧 gakkô

新 調 しらべる
旧 調 チヨウ

ユニバーサルデザインの観点から

見た目でも分かりやすく

視覚的に内容をつかみやすいように、紙面を工夫しました。

箇条書きや図解、イラスト

言葉の力
表し方のくふうを読み取る

- どのような事が取り上げられているか。
- 書かれている事が、どのような順序でなされているか、どのようなことが強調されているか。
- どのような言葉を使って、読み手の印象にのこるようにしているか。
- 写真や図などが、どのように使われているか。

どのような言葉を使っているか
どのような順か

どのような写真や図を使っているか

生かそう
テレビやインターネットの広告を読むとき、その内容や表し方に注意する。

4上P100「広告を読みくらべよう」

色や矢印

うら	いし	あさ
あす	あしあと	あさい
あしか	あしおと	あしあと

3上P36
「国語じてんの使い方」

カラーユニバーサルデザイン

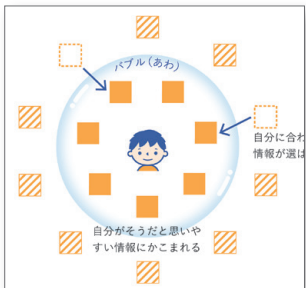
全ての児童に見分けやすい配色を工夫するとともに、必要に応じて色以外の情報に加え、判別しやすくしました。

白で区切りを示す



5年P55「漢字を使おう」

罫線や塗り方で区別



5年P50
「インターネットは冒険だ」

従来比
4.2% 軽量化!

入門期のつまずきへの手立て
多くの一年生がつまずきやすい「特殊音節」と「助詞」。科学的に実証された指導法を取り入れ、児童がつまずきやすいポイントを手厚くフォローします。

脚注罫線で、行を捉えやすく

全ての物語・説明文教材の脚注罫線には、五行ごとの行数字に加えて、一行ごとに点（・）を示しています。



読みを阻害しない
色違い

語句のまとまりでの改行

今までに見つかった ビーバーのダムの中には、高さ ニメートル、長さ 四百五十メートルもある大きなものも あったということです。

2下P16「ビーバーの大工事」

文節改行を、丁寧に

語句のまとまりを捉えやすくするために、一、二年生の教材では文節改行を施しています。

持ち物の重さへの配慮

ページ削減・用紙の品質向上などを通して、全体でおよそ**4.2%**の軽量化を図りました。



教師用指導書・情報発信サイト

教師用指導書

研究編

各単元の標準的な指導の展開や、詳しい解説を掲載しています。日々の指導や教材研究に役立ちます。

- 主な特徴として、次の点が挙げられます。
- 全ての「毎時の展開」において、板書例を掲載。
- 単元を中心とする発問例や、児童の反応例を豊富に掲載。
- 各単元のQRコンテンツの使い方・使いどころを掲載。

新 指導者用デジタルブック *「研究編」同梱

学習者用デジタル教科書と同一規格のビューア「Lentrance Reader」を採用しています。電子黒板やプロジェクトによる演示、動画・音声の再生などが可能です。

指導者用デジタルブックの機能やコンテンツとして、次のようなものを搭載しています。

- 教科書とほぼ同一体裁のウェブページから、「読むこと」の教材文のテキストを取り出せる**テキスト活用モード**
- 教科書の素材を使ってオリジナルの教材や板書を作成できる**MY教科書エディタ**
- 資料や著者インタビューなどの動画

- 総ルビ・分かち書きの教科書紙面のデータ
 - 「読むこと」などの朗読音声
 - 思考ツール・各単元準拠のデジタルワークシート
 - 漢字の読み書きを繰り返し練習できる漢字テスト
- * 「Lentrance Reader」の特徴については、本誌38ページをご覧ください。

ワークシート編 *「研究編」同梱

研究編との関連を図り、思考力、判断力、表現力を養うためのワークシートを用意しました。更に、デジタルワークシートは、Google Workspace for EducationやMicrosoft Teams等さまざまな授業支援システムで活用できます。

指導用音声CD *「研究編」同梱

文学教材・説明文教材・古典教材の範読を収録し、指導用・鑑賞用として活用できます。

指導編（朱書編） *別売

教科書と同じ体裁で、指導に必要な事項や、指導のポイントなどの情報を朱書しています。

読書指導のてびき *別売

図書館利用指導、読書活動のための実践資料に加え、児童の教科書の紹介図書について、詳しい解説を付しています。

学習・指導をサポート！ テキスト活用モード

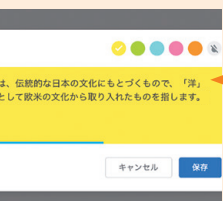
テキスト活用モードでは、「読むこと」の教材文の全体をスクロールしながら閲覧できます。教材文のテキストは、端末のクリップボードにコピーすることもできます。

くらしの中の和と洋

日本では、くらしの基本である「衣食住」のどれにも、「和」と「洋」が入り交じっています。「衣」には和服と洋服があり、「食」には和食と洋食があり、「住」には和室と洋室があります。「和」は、伝統的な日本の文化にもとづくもので、「洋」は、主として欧米の文化から取り入れたものを指します。

ここでは、「衣食住」の中の「住」を取り上げ、日本のくらしの中で「和」と「洋」それぞれのよさがどのように生かされているか、考えてみましょう。

和室と洋室の最も大きな違いは、ゆかの仕上げ方とそこに置かれる家具



Google Jamboardの付箋に貼り付けた例

コピーしたテキストは、Google Workspace for Educationや、Microsoft Teams等、さまざまな授業支援システムに貼り付けるなどして活用することができます。

* テキスト活用モードは、授業に必要な範囲で「CR」を配信するなど、**児童に共有できます**。公衆送信にあたっては、学校設置者からSARTRASへの届け出と補助金の支払いが必要となります。

* 取り出したテキストはウェブ上で翻訳することも可能です。日本語指導が必要な児童への、語句の理解の助けになります。

情報発信サイト「こくごスタジオ」

国語の教育情報を、定期的に配信

国語で、何をどう教えればいいのか。さまざまな教育課題にどう対応すればよいのだろうか――。そんな悩みを持つ先生たちを応援したいという思いから、情報発信サイト「こくごスタジオ」をオープンしました。

毎月三回の更新を予定。先生がたの日々の授業や教材研究に役立つものから、ちょっとした息抜きに読める記事まで、さまざまな情報を配信します。



* 各商品・コンテンツは制作中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

学習者用デジタル教科書

複数の教科を一括管理

東京書籍をはじめ、複数の発行者が採用するビューアである「Lentrance Reader」を使用。さまざまな教科・教材を一つのビューアで管理できます。

学習を支える便利な機能

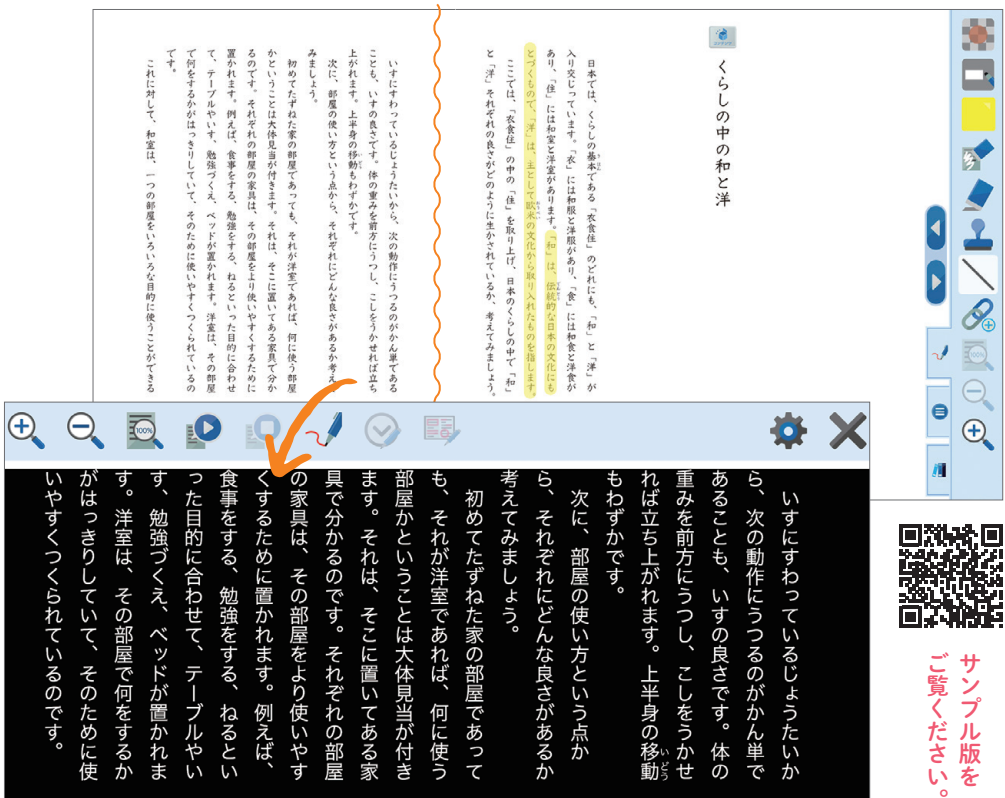
ペンツールでメモを残したり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。個人の学習記録を残すことで、児童一人一人に合った教科書が作れます。

特別支援教育等への対応

文字の色や大きさ、行間などを読みやすいように調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読みあげたり、総ルビ・分かち書きで表示したりする機能は、弱視や発達障がいのある児童だけでなく、急増する帰国・外国人児童など、日本語を読むことに困難を抱える子どもたちの学びを助けます。

QRコンテンツの活用

学習者用デジタル教科書では、画面の二次元コードをクリックするだけで、QRコンテンツを利用できます。



サンプル版を
ご覧ください。

著作関係者

代表	秋田喜代美	学習院大学教授	六戸寛昌	立命館中学校教諭
顧問	角野栄子	作家	柴田玲子	東京都目黒区立碑小学校非常勤講師
	西本鶏介	昭和女子大学名誉教授	鈴木武司	関西学院初等部教諭
	相澤秀夫	宮城教育大学名誉教授	住田 勝	大阪教育大学教授
	青山之典	福岡教育大学大学院教授	高桑弥須子	元千葉県市川市立行徳小学校学校司書
	足立潤子	兵庫県丹波市立和田小学校教諭	田 達 豊	元大阪総合保育大学教授
	安達真理子	カリタス小学校教諭	田中元康	高知大学教育学部附属小学校教諭
	阿比留聖嗣	大阪府大阪市立みどり小学校首席	寺井正憲	千葉大学教授
	阿部 直	兵庫県三木市立吉川小学校主幹教諭	寺岡聡志	帝京平成大学教授
	岩崎直哉	富山国際大学専任講師	寺島泰宏	兵庫県西宮市立高木北小学校教諭
	上江洲朝男	琉球大学教職センター教授	土居正博	神奈川県川崎市立はるひ野小学校教諭
	大川孝子	秀明大学非常勤講師	富安慎吾	島根大学准教授
	大久保亨	大阪教育大学附属天王寺小学校教諭	豊浦章治	別府大学明星小学校指導主事
	大塚真弓	元国立学園小学校教諭	中野紗耶香	島根県立大学准教授
	小笠原拓	鳥取大学教授	中野貴文	別府大学兼任講師
	岡田充弘	中村学園大学准教授	中山美由紀	立教大学兼任講師
	岡田祐典	千葉県松戸市立相模台小学校教諭	成田雅樹	秋田大学大学院教授
	小川孝司	中国学園大学講師	西上慶一	岡山県岡山市立螢明小学校教頭
	小野寺愛美	公益財団法人東京子ども図書館	西吉亮一	香川県多度津町立豊原小学校教諭
	片山守道	お茶の水女子大学附属小学校副校長	西谷 勉	香川大学教育学部附属高松小学校教諭
	勝見健史	兵庫教育大学大学院教授	古谷 勉	東京都新宿区立余丁町小学校校長
	榎 貴志	香川県高松市立太田小学校校長	逸見学伸	岡山県倉敷市立西阿知小学校指導教諭
	勸米良祐太	武蔵野大学准教授	堀江祐爾	神戸女子大学教諭
	菊池英慈	金沢学院大学准教授	堀之内優樹	宮城県南三陸町立伊里前小学校教頭
	北川雅浩	熊本大学准教授	牧 藍子	東京都江戸川区立南葛西第二小学校指導教諭
	桐山智巳	大阪府枚方市立蹴鞠東小学校校長	前田修郎	成蹊大学准教授
	栗原光世	東京都西東京市立住吉小学校主任教諭	真鍋住樹	広島大学大学院教授
	小高謙介	国立学園小学校教諭	三藤恭弘	香川県三豊市立詫間小学校校長
	小林康宏	和歌山信愛大学教諭	宮西達也	福山平成大学教授
	今野和賀子	東北福祉大学准教授	村上智一	絵本作家
	櫻本明美	神戸親和女子大学名誉教授		
	迫田直哉	千葉県木更津市立諒西小学校教諭		
	佐藤明宏	香川大学特命教諭		

森川正樹	関西学院初等部教諭
森田香緒里	宇都宮大学教授
弥延浩史	筑波大学附属小学校教諭
飯下泰弘	大阪府大阪市立高松小学校主務教諭
山内隆史	大阪府教育センター指導主事
山崎勝之	新潟大学附属長岡小学校校長
山下敦子	東京都青梅市立第一小学校校長
山田深雪	神戸常盤大学教授
山中勇天	玉川大学准教授
山室和也	広島大学附属小学校教諭
山本純平	国士舘大学教授
横田経一郎	東京都葛飾区立梅田小学校教諭
吉永安里	植草学園大学教授
渡部洋一郎	國學院大学准教授
東京書籍株式会社	上越教育大学副学長
ほか三名	

特別支援教育に関する校閲	海津亜希子	明治学院大学教授
ICTの活用に関する校閲	朝倉一民	北海道札幌市立発寒南小学校教頭
	稲垣 忠	東北学院大学教授
	大山喜裕	茨城県つくば市立学園の森義務教育学校教諭
	寺澤孝文	岡山大学教授
	堀田博史	園田学園女子大学教授
	毛利 靖	一般財団法人日本視覚教育協会首席研究員
	森本康彦	東京学芸大学教授
感染症対策に関する編集協力	戸田芳雄	明海大学客員教授
色彩デザインに関する編集協力		
色覚問題研究グループはつてる		

* Lentranceは、日本国、米国、及びその他の国における株式会社Lentranceの登録商標または商標です。
 * Google Workspace for Educationは、Google LLC の商標です。
 * Microsoft、Microsoft Teamsは、マイクロソフトグループ企業の商標です。
 * The United Nations Sustainable Development Goals web site: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>
 The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.